

女性差別撤廃条約選択議定書

批准求め意見書広がる

累計 188 議会

17 市町追加

女性差別撤廃条約の実効

とめました。

性を薦める「選択議定書」

の早期批准を求める地方議

会の意見書が、昨年12月は
17市町議会で可決され、累

計で188議会に広がって
いることがわかりました

(表)。選択議定書の批准
をめざして活動している女

性差別撤廃条約実現アクシ
ョンの調査に加え、意見書
を受理する参院請願課など

に問い合わせて、本紙がま

女性差別撤廃条約選択議定書批准についての意見書可決議会数

	可決数
2001~18年	40
19年	13
20年	27
21年	71
22年	37
計188	

女性差別撤廃条約選択議定書の批准についての意見書を昨年12月に可決した議会

北海道札幌市、旭川市、室蘭市、根室市、名寄市、石狩市、伊達市、小樽市、釧路町、偵知安町、安平町、仁木町、東京都東久留米市、富山県砺波市、京都府京都市、精華町、福岡県古賀市

となっています。

した「女性差別撤廃条約選

議定書の速やかな批准を
国に求める意見書の提出を

求めた(「採択」と「趣旨
採択」の主張が同数とな

り、議場裁決で趣旨採択)。

議員提出の「女性差別撤廃
条約選択議定書批准」に向け

速やかに諸課題の検討を進

めることを求める意見書」

が全会一致で可決されています。

東京都東久留米市議会では
9市町議会が全会一致で可

決。うち旭川市議会では4
人の共産党議員団が提出者

は、新日本婦人の会が提出